

考案功労賞 (50音順)

■ガラス廃材を再資源化した水産養殖用ろ過材
＝建設環境エンジニアリング(代表取締役・
原真由美氏ほか2人)



養殖魚などを循環式水槽内で飼育するとき、魚類が排泄するアンモニアなどの有害物質を処理する水質浄化材。廃ガラスびんの再資源化に向けた研究から

開発された多孔質の発泡ガラスで、連続間隙(かんげき)構造で通水性がよく、比表面積が広いことから微生物が定着しやすく、有害物質を効率的に除去できる。入手が難しくなったサングに代わる水産養殖用ろ過材として活用が期待できる。

(建設環境エンジニアリング＝佐賀県唐津市)